

登録コード	E8382100	開講年度	2026					
授業科目	数学教育ゼミナール						担当教員	茅野 公穂
英文授業名	Seminar for Freshmen in Mathematics Education						副担当	松澤 泰道・ 昆 万佑子・ 佐久川 憲児・ 榎本 哲士
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・ 2 時限		対象学生	1年生
講義室	共通教育 5 2 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素						【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					数学教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					教育活動を支え、実現する上で不可欠な数学教育に関する研究遂行や論文の論理構成に必要な専門的知識・技能		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	具体的な数学の問題を個人やグループで解きながら数学的にアプローチすることについての理解を深める。また、グループワークの結果を Google Slide でまとめ、発表したり、発表された内容について質問し、さらに考えたことを述べるなどディスカッションしたりする。							
(5)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 帰納的にアプローチする 第3回 前提をかえてアプローチする 第4回 前提を明らかにしながらアプローチする 第5回 整理しながらアプローチする 第6回 関係を明らかにしながらアプローチする 第7回 モデルをつくりながらアプローチする 第8回 数学の世界 1 第9回 数学の世界 2 第10回 数学の世界 3 第11回 数学教育の世界 第12回 本講義の整理とまとめ（授業アンケートの実施） ●図書館利用ガイダンス（1回分）実施方法は授業にて連絡。 ●情報セキュリティガイダンス（1回分）【遠隔等】（オンデマンド）で実施。eALPS に掲載。 ●こころの健康・大学生活のリスク対策（1回分）【遠隔等】（オンデマンド）で実施。eALPS に掲載。							
(6)成績評価の方法	数学教育を学ぶ上での、基礎的な知識・技能についてのレポート（100％）により評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	レポートを 5 つの観点から評価する。 取り上げた内容を適切に理解している。 取り上げた内容に関する自分の意見（主張・結論）が明確に述べられている。 自分の意見（主張・結論）と証拠・理由との対応が明確である。 関連する他の資料や文献を適切に参照, 引用して関連付けてより深い考察をしている。 自分自身が書いた文と引用文を明確に区別して示し, 引用・参照した文献情報を明示している。 ・ ~ 項目を満たし, において顕著な考察ができていれば「卓越している」 ・ ~ 項目までができていれば「かなり上にある」 ・ ~ 項目までができていれば「やや上にある」 ・ ~ 項目までができていれば「水準にある」							
(8)事前事後学習の内容	毎回授業の復習を行うこと。この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って, 60時間以上の時間外学習が必要となる。							
(9)履修上の注意	【授業に出席できない場合の学修の補充】「信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項」, 「信州大学における授業の出席に関する要項」に基づき対応します。							
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	emailにて随時 連絡先: chinok@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	なし							
【参考文献】	なし							